

ペルシャ湾での活動「問題ない」

給油艦船で政府

政府は18日、海上自衛隊から給油を受けた外国艦船がペルシャ湾で活動

することは「テロ対策特措法の趣旨に沿って適切に使用される限り問題はない」とする答弁書を持ち回り閣議で決定した。

民主党の白眞勲参院議員の質問主意書に答えた。

同特措法の基本計画には給油地域としてペルシャ湾が含まれている。ただ、ペルシャ湾で活動する米艦船にはテロリストの海上阻止活動だけでなく対イラク活動の任務も持つケースがあるとされる。そこでの活動を認め

たことで対イラク任務を持つ艦船への給油の疑いが強まる可能性もある。

民主党は同法に基づき給油が「イラク戦争用」に転用されているのではないかと批判している。03年には、海上自衛隊から

給油を受けた米艦船が、イラク戦争に投入された空母「キティホーク」に給油し、当時の石破茂防衛庁長官が「米艦船は」複数の任務を同時遂行することはある」と国会で答弁した。

【田所柳子】